

Aralia 宣言 – 公益のためのデータ活用運動

前書き

変化はかつてないスピードで加速し、あらゆる分野に広がっています。生物学、教育、ビジネス、メディア、農業、製造業など、ほぼすべての業界がデジタル変革の波により革命的な進化を遂げています。その結果として生まれる膨大なフットプリント(データ)は、急速に発展する機械学習アルゴリズムと融合し、強力な人工知能(AI)革命を引き起こしています。この重なり合う変革の影響は多面的です。新たな機会が次々と生まれる一方で、人々の適応能力の隙をついた搾取のリスクも潜んでいます。

近年、ChatGPTをはじめとする技術的ブレークスルーは、世界に驚異的な変革をもたらしました。この革新的な知能の背後には、人類の文明を通じて蓄積され、アクセス可能なデータから育まれた集合知のモデルが存在します。こうした技術が静かに私たちの日常に溶け込む中で、かつてないパラダイムシフトが進行しています。新たなAIアプリケーションの波は、意思決定の在り方を根本から変えつつあります。例えば、エージェント型の検索拡張生成(RAG: Retrieval-Augmented Generation)アプリケーションは、大規模言語モデル(LLM)とリアルタイムのコンテキスト情報を組み合わせることで、より高度な判断と実行を可能にしています。しかし、AI時代が多様で、リアルタイムかつ遍在するデータに依存している一方で、現在の主流なデータ処理手法は依然として中央集権的で閉鎖的な環境におけるデータ取得という旧来のパラダイムにとどまっています。このギャップこそが、データ経済の進展が思うように進まない要因であり、結果として、実用的なAIの発展を阻害しているのです。

データとは、あらゆる場所・時間で生成される多面的な事実の記録です。AIが世界的に普及し続ける中で、異なるデータの相乗効果によって生まれる画期的なインサイトが注目を集めています。これにより、データ交換の仕組みを構築しようとする動きが活発化し、大きな関心と努力が注がれています。しかし、データ流出の頻発に対応する形で新たなプライバシー法が制定されるとともに、データ共有に対する懸念や不信感が高まっています。その結果、期待されていたデータフローの円滑化が妨げられています。

BigObject社は、この問題の根本原因を過去世代のデータパラダイムにあると考えています。従来の手法では、データを取得し準備した後でなければインサイトを得られないため、際限のないデータの複製が発生し、膨大な時間とリソースが浪費されます。この慣習は、環境持続可能性に対する国際的な懸念をますます高めています。歴史が示すように、新たな解決策が登場するまで、旧来の

手法は支配的であり続けます。その結果、データの相乗効果を活用するという理想が阻害されてきました。そこで、Aralia のオープンデータ・エコシステムは、Web3 の理念に基づき、分散型アプローチを採用することで、現代のデータ特性に適した新しい解決策を提供します。

データ所有権の保護の確立から、所有者が管理するデータインサイトの提供、さらにはデータ駆動型社会の促進や複数のデータソースを横断した相乗的なインサイトの創出に至るまで、Aralia はデータのセキュリティや完全性に関する懸念を解消し、データ所有者による迅速なデータ提供を促進します。また、すべての人が安全かつ容易にデータへアクセスできる環境を整え、異種データを活用した新たな探求の機会を開拓します。これらすべてを環境原則に従いながら実現します。さらに、Aralia のオープンデータ・エコシステムは、LLM (大規模言語モデル) の出力を最適化し、実用的な AI アプリケーションの時代を切り開きます。

宣言

BigObject 社は、データ提供に協力する意思のある組織を支援し、地球とそのすべての生命のために、情報に基づいた意思決定の協力を促進することにより、グローバルな公益コミュニティが公益目的のためにデータを活用できるよう支援するという使命に取り組むことをここに宣言します。この使命の一環として、BigObject 社は Aralia ソフトウェアの無償使用ライセンス(FREE LICENSE TO USE) を提供します。

詳細については、publicgood@bigobject.io までお問い合わせください。